

住人十色

第
199
回



◎「ミラクルはない、どれだけ頑張れたかが勝負」。仲間が存在が、いつも背中を押してくれた

支えがあったから、頑張れた—— 感謝を胸に漕ぎ続けた3年間

加藤はるさん=長田=、奥本真里亜さん=宿茂=、中原夏音さん=内子3=

令和8年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会が開かれ、大洲高校カヌー部の皆さんが昨年に続き、大舞台に挑みました。奥本真里亜さんと加藤はるさんは4人乗りのカヤック種目に出場。500メートルで8位に輝き、前年に逃した悲願の入賞を果たしました。奥本さんは「勝負の3年目、先頭の自分が崩れたら全てだめになる。焦る私に、仲間が声をかけてくれて」と話し、加藤さんは「気持ちもないと全国では勝てない。勝つために楽しもう、と思った」と返します。中原夏音さんはカナディアン・シングルで決勝に進出。「自分らしくね、と励ましてくれる家族の存在が大きかった」と振り返ります。3人からは「感謝」の言葉が尽きません。加藤さんは「結果が出なくてつらかった時、一緒に涙を流してくれた仲間がいたから頑張れた」と話し、中原さんは後輩に向けて「応援してもらええるチームでいてほしい」と続きます。キャプテンも務めた奥本さんは「一人じゃできない競技。結果で恩返ししよう、と言い続けてきて、それは果たせたかな」と笑みがこぼれます。漕ぎ抜いてよかったね、と晴れ晴れとした表情で繰り返しました。「多くの経験をくれた3年間に、感謝——」

編集幸記

▽大洲高校は実は私の母校。取材で訪れ、懐かしく思いました。カヌー部の皆さんの一生懸命さに心を打たれ「自分はこんなに頑張っていたのだろうか」と思い返します。何事も、本気で打ち込めるってすてきですね(史)
▽カメラを向けると、すてきな笑顔を見せてくれる皆さん。いつも本当にありがとうございます。さて8月が終われば秋の気配……と思いきや、まだまだ暑そうですね。体調に気を付けて、残りの夏も楽しみましょう(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

